

みなみさんりく 議会だより



No. 78

令和7年 8月1日発行

特集

南三陸町は20歳になります

P2



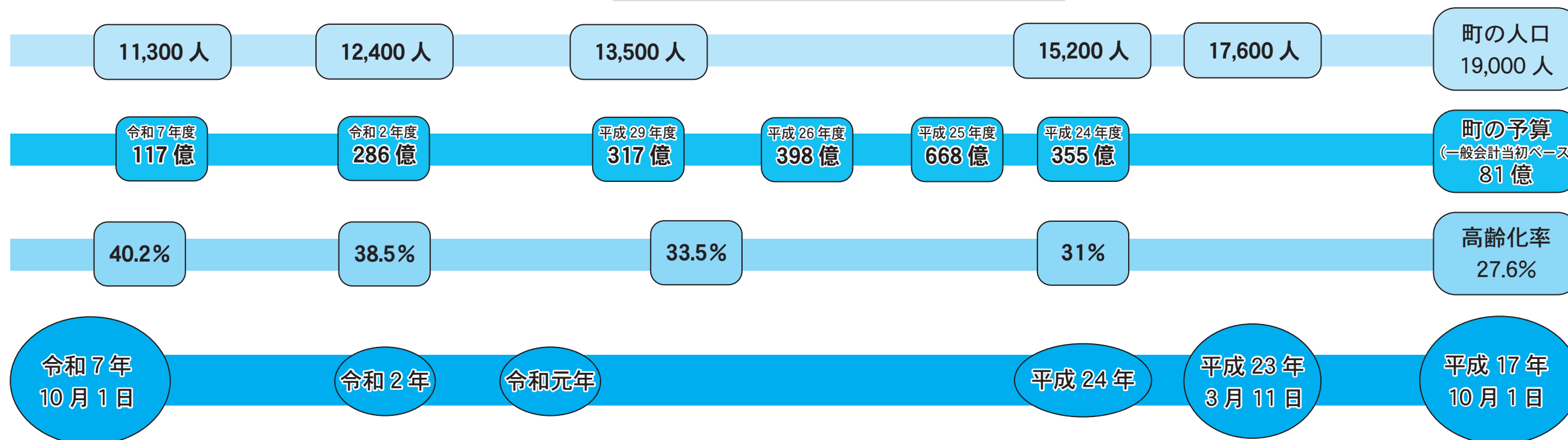
P 4 〈議案審議〉 入谷小学校線拡幅
P 5 〈一般質問〉 ここが聞きたい！ 8人登壇
P14 議案一覧 P15 委員会報告

《海と里山の体験》入谷小学校5年生の野外活動
と2.3.4年生の生き物調査の様子。ひとつひとつ
の体験が子どもたちを大きく成長させてくれます。

南三陸町は20歳になります ～ 震災から次の未来へ ～

特集

南三陸町議会の20年を振り返る



南三陸町は旧志津川町・旧歌津町が合併して今年で20年になります。20年のうち半分以上の時間が東日本大震災からの復興と町が生まれ変わっていく時間でした。議会もまちづくりの一旦を担ってきた中で、これまでの歩みを振り返りながら、これからも町民の皆さまの声を町政に届け、町の発展、活性化に寄与していきます。

できごと

南三陸町誕生

平成21年12月
議員定数を22名から16名とすることが決定され、平成21年11月の選挙を経て議会も新体制でスタート。

東日本大震災発生



町の復興計画を決定
高台移転を事業化
仮設住宅の環境整備
漁港の復旧

平成25年10月
震災後、初の選挙。新人5人を含む16人の新体制がスタート

南三陸病院の建設着工
災害公営住宅の整備
町役場、歌津総合支所、戸倉小学校、給食センターなどを復旧

さんさん商店街・ハマーレ歌津商店街OPEN

台風19号による被害

被害総額34・2億円
復旧に町単独の予算も投入

新型コロナウイルス緊急事態宣言



感染拡大予防対策の30事業のパッケージ実施
(例)てんこ盛り商品券発行、町内版GOTO、など
互いに支え合うための決議文を採択

合併20周年

復興から次の段階へ進むまちづくり。課題は山積していますが、議会は町民の福祉向上を念頭に職責を果たしてまいります。

6月定例会議の内容はP4から

町民の声

新しいまちづくりの要望はだれに届けられたいの？

住まいの再建は？
まちづくりは？
学校環境は？

公共施設や商店街の整備は？

台風災害復旧は？

感染拡大防止は？
経済対策は？

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

8人の議員が15件について

行いました。

「各議員の質問内容」

1 三浦 清人 議員…6ページ

- ①交流人口の拡大について
- ②防災、減災について



2 佐藤 雄一 議員…7ページ

- ①町道の維持管理について
- ②鳥獣被害対策の強化を



3 菅原 辰雄 議員…8ページ

- ①教育現場の現状と課題



4 阿部 司 議員…9ページ

- ①米価高騰と地域農業の現況について
- ②熱中症対策義務化の対応について
- ③地方創生の諸施策の考えについて



5 後藤伸太郎 議員…10ページ

- ①公営住宅を取り巻く環境の今後は



6 及川 幸子 議員…11ページ

- ①道路改修工事に伴う現地調整について
- ②町内のごみ処理状況について



7 伊藤 俊 議員…12ページ

- ①誰もがQOLを高めていく福祉環境づくりを
- ②主体的な地方創生施策の推進



8 今野 雄紀 議員…13ページ

- ①地域コミュニティの醸成について
- ②生涯スポーツの振興



各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのページにQRコードを掲載しています。お手元のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生すると、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。

1 入谷小学校線拡幅

議案
審議
6月定例会議

6月3日より定例会議が開催され工事請負契約の審議をはじめ専決処分の報告等が行われました。



入谷小学校の南側町道路線を令和8年1月31日までを工期とした拡幅工事が可決されました。

問（佐藤雄一議員） 工事期間中は全面通行止めになるのか。

答 昼間は全面通行止めで入谷公民館の方から迂回路になる。

問 朝夕の通学時間帯の対応はどうか。

答 可能な限り配慮したい。

各行政区に草刈り謝金

正算
補予
6月定例会議

現金前払いで油代や飲み物代に一世帯当たり250円×2回分で算定

問（今野雄紀議員） 刈払機械の貸出しをしては。また個人での草刈りに謝金の支給はできないか。

答 貸出しは考えていない。個人の奉仕作業には現実的に困難だ。

問（伊藤俊議員） 除草作業への謝金を支給するタイミングは。

答 年2回に分けて速やかに各行政区に支払う。

狩猟免許取得に補助

問（三浦清人議員） 申請窓口はどこか。広報はどのようにするか。

答 農林水産課の窓口で対応する。町の広報、ホームページ、会議等で周知したい。

問（伊藤俊議員） 免許が複数あるが、全て対象にしているのか。

答 銃、空気銃、ワナの免許があるが対象とする。重複も補助対象になる。



作業中は、熱中症にも気をつけて

問（今野雄紀議員） 事業の詳細は。販売先はどのようなになるか。

答 町外からギンザケ稚魚1万8千匹、種卵4万粒を購入する。水温、水量、孵化率、成長曲線などを調査する。販売先はこれから決めたい。

問（三浦清人議員） 事業期間は何年ぐらいを見込んでいるか。

答 今年度のみの試験的な取り組みである。

問（須藤孝孝議員） 本施設はシロザケ増殖を目的とした施設である。目的外使用だが、本来の漁船漁業者への支援はどのように考えているか。

答 国の目的外使用許可は得ている。シロザケ漁船漁業者への支援は難題ではあるが、県等と連携してしっかりと対応していく。

ふ化場でギンザケのふ化・飼育にチャレンジ

魚竜館建設の見通しは

町長 箱物ありきではなく展示の仕方を考える



問 魚竜館建設の見通しは。

答 魚竜館建設又は既存施設の改修に係る補助金が多量に見つからない。

問 どのような補助事業（メニュー）を調査したのか。

答 博物館法に基づく補助はあるが極めて低い。地方経済生活環境創生交付金、実施計画等、内閣府の審査はあるがメニューとすれば交付金、補助制度が存在の確認はしている。

問 新幹線のトランヴェールに南三陸町の化石が詳しく紹介された。

答 JRのトランヴェール5月号私も読んだ。非常にいいPRになったと思う。ハマレ歌津の前の広場にインドア、子供

ハマレ広場に子どもたちが室内で遊べる施設を

QRコードから一般質問の動画が見られます。



達が生室内で遊べる施設も兼ねてそこに展示をする話しは。

問 箱物ありきではなく、展示をどうするのか、Hokes（ボックス）の皆さん含めて活動拠点としてどうすべきか整理してから。最初から箱物の議論は御勘弁、御理解いただきたい。施設を造る、設置をするとなれば当然歌津地区。



避難誘導

防災、減災について

町長 実情にあった避難所指定を

問 海抜30m以下の区域内に避難所が設置されている箇所の変更は。

答 海抜30m以上の施設のみを指定避難所とするのは実情にそぐわない。

問 迅速かつ自主的に可能な限り高く安全な場所に避難が重要。普及啓発を図る。林地区避難所は津波時は利用できないが土砂災害は適用。

問 津波の指定避難場所

答 保呂毛生活センター。ホテル観洋が近いので、そちらに避難するという住民もいる。

問 復興祈念公園の観光客の誘導は。

答 地震があつたら避難する一目見て分かるデザインの看板を作成している。

問 泊浜は。

答 海抜27・16m。地域の方々への実情周知を確認する。

問 自主防災組織の現状と強化について。

答 69行政区のうち49行政区、71%の組織化。隣接する行政区との連携を促すなど今後も設立の推進に務める。

問 組織のない行政区の今後の見通し計画は。

答 補助事業の周知を含め消防署、警察署の防災関係機関を併せ研修会を今年度予定。

問 具体的に。

答 具体的にはこれから例えば、この地域は避難誘導とか、物資運搬とかの役割を担う形にしたい。

交流人口

ハマレ広場に子どもたちが室内で遊べる施設を

QRコードから一般質問の動画が見られます。



地区民の道路除草協力に油代の補助ができないか

町長 6月会議において予算計上させていただいている

道路整備

区画線がはっきりしないと登下校時に車道にはみ出て危ないと思うよな一

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 消滅した道路区画線の引き直しの考えは。

答 区画線は道路を安全かつ効率的に利用するためには欠かせないもの、交通の流れを円滑にするため重要であることから引き続き適切な維持管理に努めていく。

問 通学路における白線の消滅部分の復旧の対応は。

答 通学路等に指定されている路線は、特に優先度を上げて対応する。児童生徒の登下校時の安全確保に努めていく。なお、入谷小学校線は今年度改良工事を予定しているの、その中で白線を再度引きたいと考える。

問 地区民の道路除草協

力に油代の補助ができないか。

答 本年4月の行政区長会議においていただいた意見を踏まえ、庁内で検討し、謝金を支給することとし、その対応予算を本会議に付議した。

鳥獣被害対策

鳥獣被害対策を強化する必要があると思うが

町長 防除と駆除の両面から対策を講じていく

問 これからいろいろな農作物の収穫時期を迎える。被害対策実施隊員による駆除や町の補助事業を活用した電気柵の設置などの被害対策を講じてきた。

答 近年、特にイノシシ被害が増加していることは認識している。令和元年度に初めて4頭が捕獲されて以降、年々増加し

問 今後のさらなる対策は。

答 個体数が増加している現状に鑑み、6月から隊員の定数を15・20人に拡大し、有資格者を増やすことも有効な対策のひとつ。新たな取り組みとして猟銃免許の取得に必要な経費を補助するため、当該補助金の補正予算を6月会議に計上した。今後の鳥獣被害対策も引き続き宮城県などの関係機関と連携して、防除と駆除の両面から対策を講じていく。



道路区画線が見えない通学路

行きたくなる学校作りの成果は

町長 一定の成果は見られるが十分ではない



問 教育委員会では行きたくなる学校づくりを推進しているが効果は。

答 平成31年・令和2年度の2年間、県の事業として志津川中学校区で取り組み、3年度から町内全小・中学校で継続して取り組んでおり、教育活動の中で「居場所づくり」「絆づくり」に取り組んでいる。具体的には学ぶ楽しさや意欲を育む授業、互いに認め合う学級づくり、学校行事や体験活動を通じたより良い人間関係づくりを目指している。児童会や生徒会が主体となり「G7子どもサミット」を開催。各学校からの意見をまとめ、目指す姿を「全校が助け合い、仲が良い学校」・

教育環境

学校も職場も明るく楽しくあるべき！

QRコードから一般質問の動画が見られます。



「いじめがない学校」・「明るい挨拶ができる学校」と定め、実践している。

問 行きたくなる学校づくりの取り組みは。

答 志津川小では、全校が助け合い、仲の良い学校、いじめの無い学校、明るい挨拶ができる学校と定めた。ハッピーボックスコーナーを設置、その日嬉しかったこと、友達との嬉しかった事を箱に入れ、昼休みの放送で紹介し互いに認め合う関係を大事にした。

問 嫌な事等への対応は。

答 毎月各学校でアンケート調査を行い、嫌だった事等を把握、担任が本人や関係する保護者とも面談、対応している。

問 教育環境と郷土芸能の伝承の関わりは。

答 郷土芸能は社会教育の面からも大事である。子供達の芸能発表会も実施して、相互を見たり、町の人に発表する機会を

設けている。各学校での活動を推奨し、委員会として生涯学習係と相談し支援を行う。長く続いてきたものであり、継続へ努力していく。

問 新教育長としての考えや思いは。

答 学校で37年・行政9年のうち社会教育を7年

経験してきた。子供達が明日も来なくなる学校・会いたい先生・やりたい勉強がある学校に思っていた。子供達が本当に笑顔で過ごせる環境を整えて学校教育・社会教育を進めていきたい。



～「居場所づくり」「絆づくり」を視点とした授業改善～

※本文は、原文のとおり掲載しています。

米価高騰と地域農業をどう考える

町長 自主的に取り組む人には後押しが必要と考える

食糧危機

食糧危機は価格の高騰から始まり急激に発生します。備えは万全に。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 米価高騰の要因は。

答 様々な要因が複合的に作用しているものと考える。

問 減反政策及び作況指数の把握については。

答 生産調整の影響が考えられる。

問 当町の稲作戸数と米価の現況は。

答 戸数は360戸で価格は5kgの白米で4,268円になっている。

問 平成5年の60kgの玄米価格は23,607円で当時の最低賃金を比較すれば1・8倍になり本来ならば42,516円が相応と思うが現状は21,000円程度である。これについてはどう考えるか。

答 農家が再生産できる

適正価格を国として責任を持つて示すべきと考え

問 地域計画の現況は。

答 4地区の合計面積は388・5haで担い手がない面積は46・5haになっている。

問 地域計画で活用されない土地の活用策は。

答 一定内の非農地化はやむを得ないと考える。

問 当町の先人の生活でも分かるように半農半漁の豊かな町で今後は家庭菜園を広め土地の有効活用を考えては。

答 家庭菜園は趣味の範囲と考える。

関係人口

地方創生の諸施策を伺う

町長 国の施策を見て現実に即した展開を考える

問 野菜の種は海外依存し自給率10%である。食糧危機は始まっており準備すべきと考えるが。

答 自主的に取り組む人には後押しが必要と考える。

問 出生率の現況は。

答 1・46で県下2位になっている。

問 社会増減の現況は。

答 マイナス64人になっている。

問 移住定住の相談状況は。

答 令和6年は61件で実際の移住者は8件である。

問 空き家の利用状況は。

答 昨年は3件である。

問 地域おこし協力隊の現況は。

答 現在9名の方が活動されている。

問 国では関係人口の主力として二地域居住を提唱しているが考えは。

答 震災支援を通じて20万人程の関係人口を有していると考えている。

問 地理的環境を考え二地域居住策を進めては。

答 国の施策を見ながら現実に即した展開を考える。

他に「熱中症対策」の質問も行いました。詳細は上記QRコードからご覧ください。



自然環境の調和が最強のプロモーションです。



自然環境の調和が最強のプロモーションです。

他に「熱中症対策」の質問も行いました。詳細は上記QRコードからご覧ください。

※本文は、原文のとおり掲載しています。

公営住宅の共益費上昇への対策は

町長 相談に応じながら対応を検討する



問 震災前からの古い町営住宅の状況は。

答 10団地、74戸に60世帯が入居中。月額家賃の最安値は1,500円で、収支で言えば町は赤字。老朽化が著しいため新規入居はせず、全員退去した棟から順次解体するが、強制退去などはできない。

問 災害公営住宅の家賃の推移の状況は。

答 家賃低減事業により、低く抑えられてきたが、入居5年後から徐々に上昇し、入居10年後から通常の水準になる仕組み。入居者へは丁寧に説明している。また、町独自の施策として、年金暮らしの1人世帯に対しては家賃を据え置いている。

公営住宅に長く住めるように、課題を整理して環境を整えなくては！

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 入居率が下がると、

共益費が上がるのでは。
 答 現在の入居率は90%以上だが、これが下がれば1世帯あたりの共益費負担が増えるのは自明の理であり、懸念する声も届いている。今のところ大きく上がったという話は聞かないが、問題があれば遠慮なく相談してほしい。
 問 空室を埋めるための募集はしているのか。
 答 年4回おこなっている。昨年度の募集は65戸。
 問 これまでLSAの方々が地域コミュニケーションを支えてくれた。国の財政支援がなくなったが今後の対応は。
 答 住民の高齢化も進み、ニーズはむしろ高まっている。介護保険特別会計で人件費を捻出し、人数は減少するが事業は継続する。高齢者の見守りを中心に、これまで同様の活動をしてもらう。
 問 公共施設維持管理基金の額は年々大きくなっ



植栽活動などでコミュニティ維持を

※本文は、原文のとおりに掲載しています。

負担増対応

旧歌津保育所前道路の移設されない電柱が危険！

町長 共用開始を優先するため通常とは違う手順を踏んだ

事故防止

皆さん特に夜は危険ですので気を付けて下さい

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 歌津駅から旧保育所周辺が整備されたが、電柱が移設されていないが理由は。

答 共用開始を優先するため通常とは違う手順を踏んだ。

問 この路線は、大津波が歌津駅を乗り越え多くの住居を押し流した場所であるから復興予算ですべきだと思うが復興予算を返還した後の事業となった原因は。

答 「復興予算を返還してから」という言葉は誤解を招く。復興交付金事業は、復興庁との協議の中で被災した道路を直すもので、今回の事は該当しない。その後の移設費用は

どこで持つのか、いつ頃実施されるのか?!この逆パターンがあるのか?
 答 時期と費用についてはこの場で答えるのは難しいが、占用者が道路事業者が負担する場合がある。通常は逆パターンで施工する。
 問 戸倉西戸地区は復興事業が終わり、電柱も移転され準備が整っているのに未だに未舗装である。単独事業でもすべきではないか。
 答 未舗装なのは認識しているが、理由は把握していない。

環境整備

草木沢処分場は歌津の住民に必要不可欠

町長 予算計上し、必要な補修を行う

問 人口が減少しているのに対してゴミ処理予算は多くなっている。費用対効果を考えると広域で実施すべきではないか。
 答 以前、登米市・気仙沼市・南三陸町広域圏の話が出たが、耐用年数や財政負担・場所などを考えれば、草木沢処分場は歌津の住民に必要不可欠

問 人口が減少しているのに対してゴミ処理予算は多くなっている。費用対効果を考えると広域で実施すべきではないか。
 答 以前、登米市・気仙沼市・南三陸町広域圏の話が出たが、耐用年数や財政負担・場所などを考えれば、草木沢処分場は歌津の住民に必要不可欠

問 草木沢処分場が稼働しているが、旧歌津町からの施設で老朽化している。「延命処置をしながら歌津の住民が使用する」。

問 私は現場の声を聞いているので勘違いではないか。現場の状況は音・煙・温度を見れば一目瞭然である。歌津の住民が長く使用するには延命処置が必要だが。

答 この先いつまで使えるか明言できないが、必要な補修は行う。



道路に突き出た電柱

※本文は、原文のとおりに掲載しています。

QOLを高めていく福祉環境づくりとは

町長 安心して生活維持できるネットワークを整えていく



QOL向上

誰もが自分の命を輝かせるためには

※QOL…クオリティオブライフ
生活の質や人生の質を表す言葉。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 福祉計画を実行していく中で、特に難しいと思う課題は。
- 答 課題が複合的であり、多様化していること。
- 問 町内で、就労支援を行っている事業所は。
- 答 町内には無く、現状は気仙沼市、登米市などの事業所に繋げている現状。
- 問 ケースバイケースにはどれぐらい対応できているか。
- 答 今年度から社会福祉係に社会福祉士を置き、健康増進係にも専門職を置いて個別のケースごとに対応できる体制をとっている。
- 問 こども家庭センターに障がい児及びご家族の相談支援機能はあるか。

- 答 相談受付の窓口になっている。
- 問 公共施設のユニバーサルデザイン化をさらに進めていくためには。
- 答 地域福祉計画にも掲げているとおり、利用者の声を取り入れながら、デザインの推進を図っていく。
- 問 学校現場におけるユニバーサルデザインの取り組みは。

- 答（教育長） ハード面だけでなく、学習のしやすさ、学校での過ごしやす



トイレの作り方でわかる福祉レベル

- さも意識して環境づくりを進めていく。
- 問 重層的支援体制整備事業の令和8年度開始はえて進めている。
- 答 令和8年度の本格稼働といったところを見据えて進めている。

地方創生

主体的な地方創生推進を

町長 自治体がどう覚悟を決めてやるかどうか

- 問 地方創生伴走支援制度を採用した目的は。
- 問 二地域移住政策を進めていく上で、本拠地はどこに？現状の捉え方は。
- 答 どちらかといえば地方が一時的な居住地となるようなイメージ。
- 問 政策に対し積極的な考えを期待したいが。
- 答 自治体がどう覚悟して進めるか、しっかりと取り組むたい。
- 問 南三陸応援団をバーイジョンアップして、政策を進めてほしいが。
- 答 事業の見直しも含め、持続的な取組が可能か地域の方々と検討していく。

ピックルボールを生涯スポーツに

教育長 体験会でコーナー設置が可能かも

ニュースポーツ

老若男女で気軽に健康増進、幸福度ましまし

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 テニスコート、ベイサイド、学校体育館などの活用状況は。
- 答 平日の夜間における体育館は空きがない状況が続いている。
- 問 教育長の生涯スポーツ振興への思いは。
- 答 誰もが、健康で生きがいを持ち生涯を過ごすための、ひとつとして生涯スポーツの推進は大切だと認識している。
- 問 大坂なおみ、ジョコビッチもやっているという、テニス・卓球・バドミントンの要素を併せもったスポーツ、ルールは比較的シンプルで手軽にできる「ピックルボール」を、ベイサイドで体験会など開催できないか。
- 答 10月のスポーツの日

に、世代を問わず様々な方にスポーツの開放体験会がある。バドミントンコートが活用できるので、ピックルボールも、1コーナー設定することも可能かもしれない。現段階ではコートの整備、用具の購入等は考えていない。

コミュニティ醸成

草の根的な補助、助成で小さな行事の創出を

町長 おらほのまちづくり事業がある

- 問 行政区への補助、助成は十分か。
- 答 基本的には団体があるから、何にでもそこに出せばいいというものではない。活動の支援にはおらほのまちづくり支援事業がある。
- 問 行政区に、自由に使えるお金をいくらでも



パドル（ラケット）やネットのセットも手頃な値段です

- 答 防犯灯に関しては、補助率を上げてくれという話は出ていない。
- 問 スポーツなど、町長杯や教育長杯の大会があったが、今後取り組む必要は。
- 答 町が主導だと、半強制的ようになり、継続はむずかしく、地域コミュニティの醸成にはつながらない。

6月定例会議 議案一覧 12件 (報告5件、条例2件、予算1件、工事2件、財産2件)

報告	報告第 1号	町税条例の一部改正に係る専決処分報告
報告	報告第 2号	国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分報告
報告	報告第 3号	令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
報告	報告第 4号	令和6年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告
報告	報告第 5号	令和6年度水道事業会計予算繰越計算書の報告
条例	議案第 1号	敬老祝い金条例の改正 支給対象者要件に特例を追加
工事	議案第 2号	入谷小学校線道路改良工事を(株)須藤建設と5,330万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年1月30日まで →P4
工事	議案第 3号	令和7年度漁港施設機能強化事業(石浜地区)防波堤整備工事を1億9,470万円で(株)阿部伊組と工事請負契約を締結。工期は令和8年1月30日まで
財産	議案第 4号	町営住宅使用料及び町営住宅駐車場使用料に係る債権の放棄 債務者の死亡及び相続人の相続放棄により回収が不能
財産	議案第 5号	水道料金及び診療費に係る債権の放棄 債務者の破産手続きにより免責が決定
予算	議案第 6号	令和7年度南三陸町一般会計補正予算(第1号) →P4
条例	議案第 7号	投票管理者等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の改正

総務産業建設
常任委員会

令和7年5月13日、持続可能な林業振興について、高知県佐川町および仁淀川町において聞き取り調査を行った。



林業に特化した施策とは

調査の概要

佐川町は、空き家活用などの地域戦略と連携し、地域おこし協力隊を活用した自伐型林業に取り組む若手林業者を育成し定住実績をあげている。地質や気候の影響でヒノキの割合が高く、植林後、手付かずの山が多くなっているが、大学や専門家による技術指導等も行われており、技術継承と人材育成などの一貫した林業施策を展開している。

仁淀川町の人口減少・高齢化は20年間で加速的に進行しており、補助金制度の減少や後継者不足の実情を踏まえ、林業を中心とした地域産業の再構築を行っている。平成27年「林業

研修制度」を創設し、人材募集、育成、就職支援までを行政が一体で行ない、木材流通の中核は民間組織が担っている。林業を通じた雇用創出と定住促進はもとより、地域資源を活用した都市との交流など小規模でも持続可能な循環型経済の実現を目指している。

これまでの調査をもとに、当町における持続可能な林業振興について検討するため継続調査とする。



民生教育防災
常任委員会

令和7年5月15日、土砂災害に対する備えに資するため、平成30年7月豪雨に見舞われた広島県竹原市および熊野町において、被災状況、並びに復旧・復興状況を聞き取り調査した。



想定外にどう備えるか

調査の概要

竹原市では、多くの尊い人命が失われた反省を踏まえ、今後は「空振り覚悟で避難指示を出す」とのことであった。自然災害は想定を超えてあらゆる場所で発生するが、被災によって自助の精神、防災意識が高まっている。また、共助のための取組を広げるため、多くの民間事業者を含む25件の災害時応援協定を新たに結んでいた。

熊野町が国の交付金を活用して整備した防災交流センターはペット同行避難が可能で、いざ

という時、ためらわずに避難できるよう配慮がなされていた。また、夜間を想定した避難訓練を行うなど、早期決断による避難を促す取組が進められていた。

これらを参考に、当町の防災・減災の取組をさらに充実させるため、継続調査とする。



請願・陳情の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助金制度創設等を求める陳情書

この陳情については、民生教育防災常任委員会に付託されました。

○診療報酬及び介護報酬の抜本的引上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める陳情書

この陳情については、議員に配布しました。

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「小さく、豊かに」



歌津港

阿部 将己さん

ここ数十年のあいだで幹線道路の整備やデジタル化の進展により、ヒトやカネの移動が以前に比べて容易くなりました。一方で、都市への富や人口移動は加速し続け、それらを留めるのは非常に困難です。

そこで視点を変え、持ち運べない資本に目を向ける必要があります。私も関わっている「南三陸を化石で盛り上げる会ほっけす」の活動を通じて実感するのは、例えば化石という文化資本の持つ可能性です。化石を単なる保存対象として見るのではなく、観光資源・産業資源として捉えなおす試みを実践しています。

環境省が整備した「みちのく潮風トレイル」も同様に、南三陸の歴史や自然を体験してもらうコンテンツとしての可能性を秘めています。

重要なのは、学術的価値を一般の人が理解・体感できるように「翻訳」する技術だと考えています。いま挙げた例に限らず、自然や農林水産業、文化など地域固有の資本を、現代の技術や新たな感性を持った人たちが磨き上げ、それを核とした産業を創出するところこそが、これからの地域づくりの鍵だと考えます。

議会から

持ち運べない資本に出会うためには現地に行くしかありません。たいへんな価値のある化石がたくさん採れる町として、注目度も上昇中です。議会もみなさんのような、町の魅力を発信する活動を、応援していきたいと思います。



映像配信中！



パソコンやスマートフォンから、
議会開会中はリアルタイムで、
後日見たい場合は録画
映像をご覧になれます。



皆さん議会を傍聴 してみませんか？

次回の会議（予定）
令和7年9月2日（火）
改選前最後の定例会議です

編集後記

5月気象庁は黒潮大蛇行が収束したと発表！ 豊かな三陸の海が早く戻って来て欲しいと思う。

このような目に見えない働きを「お陰様」の働きと言うらしい。

議会だより78号の発刊にあたり関係各位のご指導とご協力に心から感謝申し上げます。

「お陰様」にも同様に感謝申し上げます。

高橋尚勝

議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎
副委員長 須藤 清孝
委員 佐藤 雄一
高橋 尚勝

阿部 司
伊藤 俊